

1. 「旧山梨市役所跡地」の活用に関する市民アンケート結果

1.1. アンケートの概要

「山梨市ランドデザイナー―地域資源活用構想―」における活用方針「公共施設の再編とあわせた、にぎわい・交流空間の創出」をもとに、より具体的な跡地活用の方向性を検討するため、市内の各世帯を対象に市民ニーズを把握するアンケート調査を行った。

調査実施者	山梨市
調査対象	山梨市内の各世帯
対象世帯数	2,000 世帯（無作為抽出）
調査方法	調査票配付：郵送 / 回収：郵送・オンライン回答併用
調査期間	令和4年1月27日～2月28日

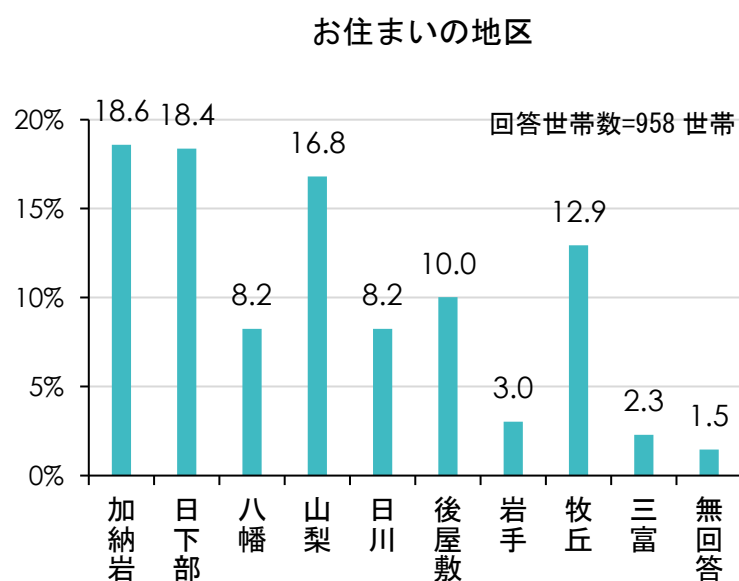
1.2. アンケートの回収状況

発送数	回収数	回収率
2,000	958	47.9%

1.3. アンケート結果

Q1 お住まいの地区について教えてください。

回答者のお住まいの地区について、「加納岩」が18.6%と最も高く、次いで「日下部」が18.4%、「山梨」が16.8%となっている。



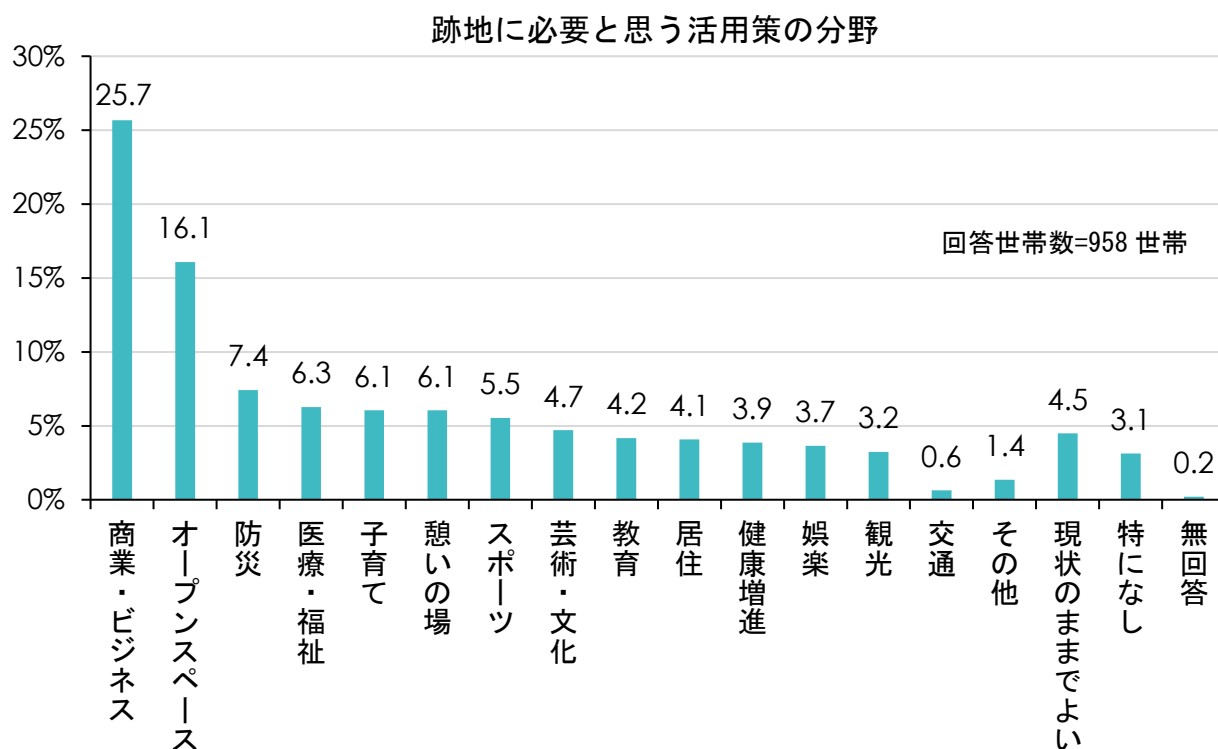
	回答数	%
加納岩	178	18.6
日下部	176	18.4
八幡	79	8.2
山梨	161	16.8
日川	79	8.2
後屋敷	96	10.0
岩手	29	3.0
牧丘	124	12.9
三富	22	2.3
無回答	14	1.5
回答世帯数	958	100.0

* 市内全域の各世帯を無作為抽出しているため、各地区の世帯数に応じて回答数に差が生じているが、各地区における回答の割合は同程度である。

Q2 跡地に必要と思う活用策の分野を選択してください。

跡地に必要と思う活用策の分野について、「商業・ビジネス」が 25.7%と最も高く、次いで「オープンスペース」が 16.1%、「防災」が 7.4%となっている。

「商業・ビジネス」とともに「オープンスペース」や「子育て」「憩いの場」などの回答があることから、人々が集い・にぎわいのあるイメージが窺える。



	回答数	%		回答数	%
商業・ビジネス	246	25.7	居住	39	4.1
オープンスペース	154	16.1	健康増進	37	3.9
防災	71	7.4	娯楽	35	3.7
医療・福祉	60	6.3	観光	31	3.2
子育て	58	6.1	交通	6	0.6
憩いの場	58	6.1	その他	13	1.4
スポーツ	53	5.5	現状のままでよい	43	4.5
芸術・文化	45	4.7	特になし	30	3.1
教育	40	4.2	無回答	2	0.2
			回答世帯数	958	100.0

自由記述 Q2 で選択した分野での具体的な活用方策や、跡地活用についてご意見などがありましたら以下にご記入ください。

自由記述について、以下のような意見があった。

活用策の分野	主な自由記述（抜粋）
商業・ビジネス	<ul style="list-style-type: none"> ● にぎわい作りの核となる施設がいいと思います。 ● 大型スーパー 雇用がうまれるものもいいと思います。 ● ショッピングモールのような、美味しい食事の店やブティックのようなお店。スポーツ娯楽の施設など、多くの活動するものが欲しい。他の市町村に行かなくても楽しめる場所が欲しい。 ● 趣味や習い事に関する店、食料品についても海外の専門店等があるといい。あまり大きくない店舗でも可能です。夢わーくもあるのでそれなりの駐車場の確保も大切、景観も考えるとあまり高くない建物が理想、楽しみにしています。 ● 子育て向けのお店や子どもと一緒にいけるごはん屋さんなど、親子で気軽に通える場所があるといいなと思います。 ● 官公庁的な施設とフランチャイズの飲食店をジョイントさせたハードとソフトの感覚を持たせ、敷地内には緑を取り入れる芝生や樹木でゆったりとした空間が持てればと思います。市民の利便性を向上させ、住み良いまちづくり、澄みきった空気に似合うきれいな街づくりをお願いします。 ● 企業誘致 市民の雇用 税収含む。
オープンスペース	<ul style="list-style-type: none"> ● 皆が利用できる広場がほしい。 ● 見とおしの良く子どもをのびのびとあそばせてあげれるスペースがあるといいなと思います。そこで少しお茶が出来る所もあると尚良いと思います。 ● 芝生広場、スケートボードが出来る施設。キッチンカーなどが入れる場や、催し多目的広場としての活用を希望します。さまざまなイベントに使え、駐車場としても活用でき、防災としても使えるような多目的広場です。自由にさまざまな活用ができることを望みます。芝生を皆で植えたら、手入れも市民、皆でするようにしたら、市民憩いの広場にもなります。親子で遊ぶ空間が想像できます。 ● 出来る限り地元市民に“自由”を与えては如何でしょうか。フリーマーケットや屋台、さらにはパフォーマンス等が“常時自由”に出来る場所としてスタート。その後、人々が“集う”場所として定着すれば、その時になって適切な施設を計画しては如何でしょうか。 ● コスト（イニシャルコスト、ランニングコスト、スクラップコスト）を考えると甲州市の旧塩山市役所跡地や笛吹市で最近オープンしたみんなの広場などが良いかと思う。

活用策の分野	主な自由記述（抜粋）
防災	<ul style="list-style-type: none"> ● 市の防災拠点として天恵とも言える跡地、第一に耐震の市民総合の避難所の設置、付属として食料等生活必需品の備蓄等安全第一の配慮を希望したい。 ● コロナの接種会場など、災害時の避難所、支援をする時の場所。 ● 防災公園など多目的に利用できるように整備 ● 普段はオープンスペースとして、子育て、小公園等に活用し、非常事態発生時には、防災として活用する。
医療・福祉	<ul style="list-style-type: none"> ● 総合福祉施設。 ● 災害時に簡易宿泊施設を設営したり、感染症等で病床が逼迫した際に最低限の機能を備えた簡易医療施設を設営するなど、有事の際に機動的に対処できるようにした方がいいと考えます。市役所、病院の中間地点という立地上のメリットを活かした行政と医療連携が期待できると思います。 ● 市営の老人福祉施設を作ってほしい。介護人材育成施設を設置することも必要。 ● シニアシティをつくる。認知症が進行しないようリスクを減らす場所をつくる。同じ年齢の人達とコミュニケーションできることも認知症リスクを減らすことにつながると思います。
子育て	<ul style="list-style-type: none"> ● 芝が整備されていて、小さい子どもたちがのびのび走り回れる場所、公園。日あたりも良く、広々とした場所なので遊具や散歩コースがあれば自然と人が集える場所になるのではないかと思います。 ● 若い人たちが安心して住める街づくり。「安心して子育てができる街、山梨市」をキャッチフレーズに「One Stop 型子育て支援センター」の設立。コンセプトは「遊べる」「学べる」「相談できる」そして「仲間ができる」の4つ。それぞれのアクティビティーを建物内と広場（できれば芝生）で提供できる空間。 ● 室内や外での遊具や、母と子のリフレッシュになるようなもの。赤ちゃんや子どもがいても行けるカフェもあればより嬉しいです。 ● 市営の託児所、食堂、デイサービス的なもの、児童会館。子どもが色々な世代とコミュニケーションが持てて素敵だと思います。
憩いの場	<ul style="list-style-type: none"> ● 市民の憩いの場として、子育ての人々が子どもと一緒に遊んだりできる環境作りと市民だれでも行って楽しんだりできる場にして欲しい、運動できたり、いろいろな趣味的なことができたり、また仲間達とちょっと休んでお茶会などができたらと思います。 ● ワークショップやものづくり体験などの手作り体験型スポットがあるとよい。観光等外からの集客をねらったものというよりは、子どもから大人、高齢者まで地域の人が趣味を持って生き生きと生活するきっかけづくりとなる場やつどいの場となるとうれしい。

活用策の分野	主な自由記述（抜粋）
スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> ● 子ども～高齢者までが、転んでもケガをせず、汚れを気にせず、寝転がったりできる人工芝、天然芝のグラウンドをぜひ作っていただきたいです。 ● 様々な年齢の子どもたちがのびのびと運動できるスペースに活用してほしい。小さな子どもが天候に左右されずに遊べる施設はない。屋外には自転車やキックボードやスケボーなどができるスペースを作ったら良いと思う。そのような活用法で子育て支援にも繋げてほしいです。
芸術・文化	<ul style="list-style-type: none"> ● 映画館、図書館、コンサートホール、温泉施設等を含めた芸術、文化の拠点。 ● 子育てする上で、山梨らしい美術や歴史に、気軽に触れ学べる施設があれば嬉しいです。
教育	<ul style="list-style-type: none"> ● みんなの学校 ◎幼児、小学生、中学生はAIを学ぶ、プログラミング、英語で数字を学ぶ、世界のニュースについて。◎高校生、大学生、家族、地域は、自然体験・教室、農業を学ぶ、討論教室、作文教室。放課後の課外授業、みんなの居場所的などところ。地域の高齢者－子どもが交流できる場所。 ● 中高生の居場所・大人になることを楽しみに思えるイベントなどを行う施設（中高生の秘密基地ビーラボ（文京区）や青少年育成プラザMiacis（韮崎市））
居住	<ul style="list-style-type: none"> ● 市営の賃貸マンション（団地）等の居住地としての活用。周りには病院や大きな商業施設、それに山梨市駅までは十分徒歩圏内ですので、生活するにはとても恵まれている。比較的若いファミリー層にターゲットを当てて入居してもらえば、多少なりとも市の活性化に役立つと思います。 ● 分譲マンションと公共施設、民間商業施設のハイブリット形態の高層ビル建設。
健康増進	<ul style="list-style-type: none"> ● 健康増進につながる、スポーツジム。ジムを併設して体に優しいオーガニック食材をとり入れたカフェ等があるといいなと思いました。 ● 在宅医療・療養に拠点となる複合施設。市民の生命と健康を守るための施設。
娯楽	<ul style="list-style-type: none"> ● カラオケ、ボーリング、ゲームセンターなど総合アミューズメント施設。山梨市に人を呼ぶことができ、働く場所も提供できるのではないかと思います。 ● スポッチャ、遊びが室内で出来て地域の人達との関わりを持ちたいと思う。
観光	<ul style="list-style-type: none"> ● 丸ごと山梨市総合観光物産館 山梨市の観光と物産を集約した施設。 ● 大きな道の駅の様な商業施設、地産地消の場、市民及び観光者が集まる場所。
交通	<ul style="list-style-type: none"> ● バスや電車の公共交通機関を増やしていただきたいので、バスターミナルを作ってください。（地域バスの増設とあわせ、全国へ行き来しやすい長距離バスもお願い致します。）
その他	<ul style="list-style-type: none"> ● 人が集まり、街が活性化するもの。税込アップし、市民が豊かに暮らせるようになるものを願う。 ● 国又は民間などが運営する公共的な施設・設備を誘致し、市税を使うことなく、雇用を生み出し周辺が活性化するようなことに跡地活用を考えたらどうでしょうか。民間への売却もあっても良いと思います。

活用策の分野	主な自由記述（抜粋）
現状のまま でよい	<ul style="list-style-type: none"> ● いままでのように臨時駐車場やイベント会場として活用。 ● 今はいつ何時災害が起こるかわからないので、何も無い空地があっても良いのでは、何かあった時使える場所が必要だと思います。
特になし	<ul style="list-style-type: none"> ● 街の景観や、開発後の管理維持、市民の利用頻度等を熟慮願います。

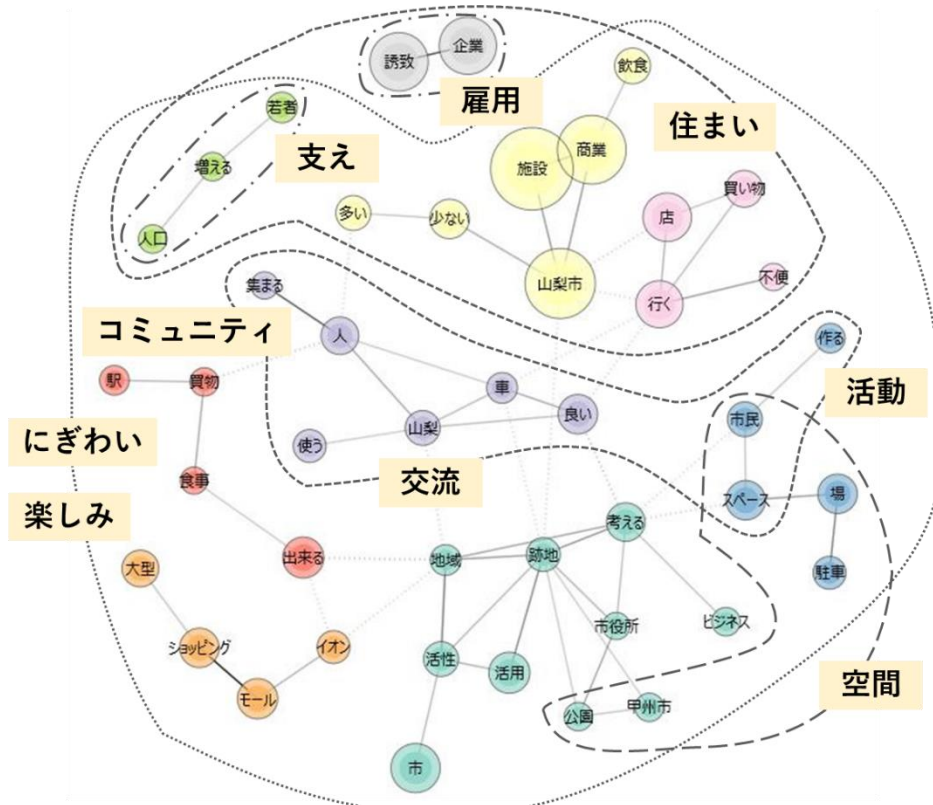


図 2 活用策の分野「商業・ビジネス」を選択した方の自由記述のテキストマイニング及びニーズ

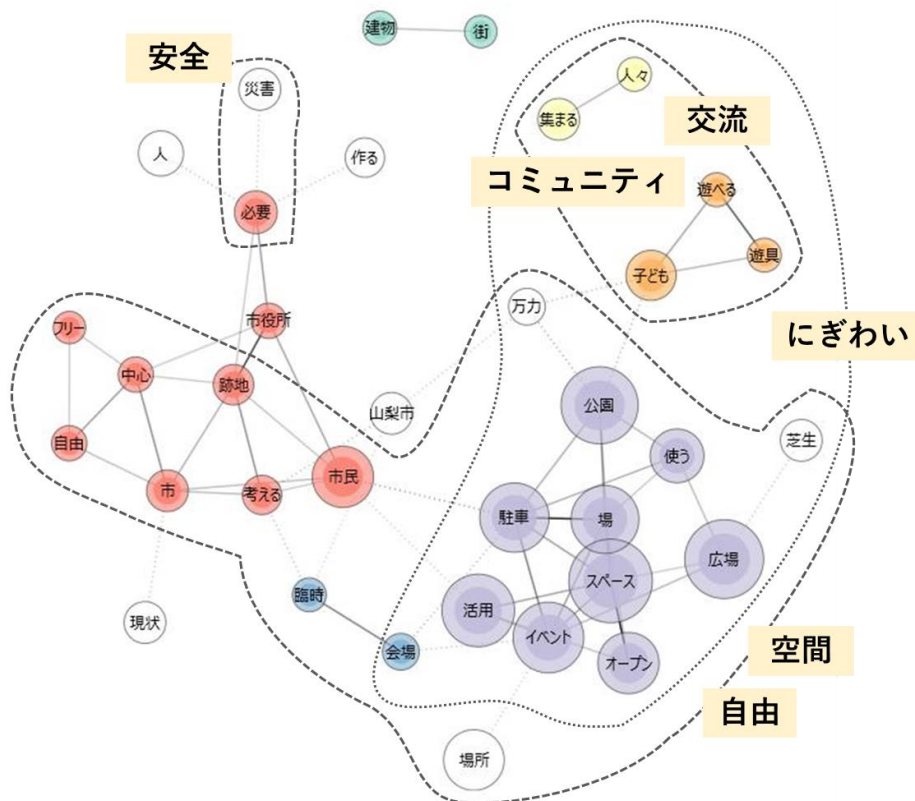


図 3 活用策の分野「オープンスペース」を選択した方の自由記述のテキストマイニング及びニーズ

2. 活用方針・活用の可能性・活用の方向性の考え方（案）

アンケート調査の分析による把握した「市民ニーズ」やアザレアタウン・山梨市駅南地域の開発動向等を踏まえ、活用方針・活用の可能性・活用の方向性の考え方を以下のとおりとしたい。

2.1. 活用方針

本跡地の活用方針は「山梨市グランドデザインー地域資源活用構想ー」にて以下の通り設定されているが、アンケート調査により、『にぎわい』や『交流』など市民ニーズと一致していることを再認識した。

公共施設の再編とあわせた、にぎわい・交流空間の創出

公共施設の老朽化等に伴う再編とあわせ、様々な都市機能を都市の中心拠点等に誘導・集約するための種地として活用することで、まちの中に新たなにぎわいや交流を創出することが求められる。
(山梨市グランドデザインー地域資源活用構想ーより)

2.2. 活用の可能性

市民ニーズ等を踏まえると、本跡地における5つの活用の可能性が考えられる。

①イベントの開催などにぎわい空間創出の場

『にぎわい』や『イベント』、『空間』といったキーワードから、イベントの開催などを中心としたにぎわいを創出する空間の可能性を検討する。

②市民活動を中心とした多様な人々の交流・創造の場

『市民活動』や『交流』、『次世代』というキーワードから、子どもから大人までの多種多様な人々や市民活動団体が自由に交流でき、新たなつながり等により、市民の思いを創造できる場を検討する。

③ビジネス・雇用創出の場

『ビジネス』や『雇用』、『次世代』といったキーワードから、子育て世代や若者が山梨市に定着するための企業誘致や市内活性化を目的とするビジネス・雇用の創出の場を検討する。

④文化・芸術を学び、人生を豊かにする場

『学び』や『交流』といったキーワードから、子どもから大人までが身近に文化・芸術に触れられ、人生を豊かにする学びの場を検討する。

⑤災害時などを想定した柔軟な活用ができる場

『安全』や『支え』といったキーワードから、災害時などの利用を想定しつつ、オープンな利用が可能な場を検討する。

2.3. 活用の方向性の考え方

市民ニーズを踏まえた活用の可能性を具体的にするとともに、山梨市駅南地域・アザレアタウンの開発動向を踏まえると、中期的・長期的な活用を考える必要がある。